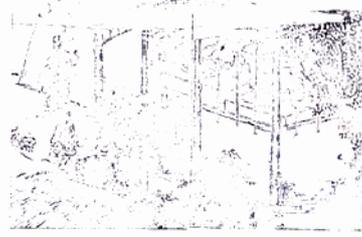


名塩和紙の歴史 起源については諸説ありますが文明7年(1475)本願寺蓮如が越前より名塩に来訪し、広教寺(現・教行寺)を開き、後に信長の越前一向一揆弾圧の期に越前より縁故をたより紙漉き工が移り住み技術を伝えたと考えられております。その従前の紙に慶長年間の頃、東山弥右衛門という人物が名塩に産出する泥を紙に漉きこむ技を導入し、名塩紙の始祖とされています。襖・屏風・衝立などに使用される間似合紙を中軸として、泥入り五色紙や蘇芳・藍・楊梅等の植物染めの色鳥の子、松葉紙、葉袋紙、箔打ち用紙など様々な種類の紙が漉かれましたが中でもその類をみない紙質により藩札および手形用紙としての需要によりこの谷合の村落に名塩千軒と呼ばれる繁栄がもたらされることとなります。

### 名塩和紙の特徴

集落近辺の山中に自生する雁皮を素材とし、それに村落の付近で採掘できる「神戸層群第二凝灰岩」という岩石を細かく粉碎し水に溶解させたのち上質の粘土状と化した粒子の部分为原料の中へ調合の加減を計量しながら混入する。この技工により、しみのつかない、日焼けもしにくく、火気にも強く、安定感ある色艶をもちしかも長期保存性の高い紙が産み出されます。泥の種類は白(東久保土)、青(カブタ土)、黄(玉子土)、茶(蛇豆土)、白茶(東久保土と玉子土の混合)。襖の表張りには雁皮の漉き草に主に白(東久保土)を混ぜるのに対して、裏張り(裏打ち紙)には漉き返し、すなわち反故紙の漉き草に光を遮断する目的で青(カブタ土)を入れて漉かれました。



享和二年刊 「筑紫紀行」一撰州名塩村の紙漉図

### 谷徳製紙所

谷野武信・国重要無形文化財  
技術保持

〒669-1147

兵庫県西宮市名塩

2-2-23

電話・FAX 0797-61

-0224

洪哉 こうや

谷野雅信

同製紙所内 主に書画用紙

電話 090-2067-

5171



# 名塩和紙

名塩雁皮紙(がんびし) 紙王と評される最高級和紙 ジンチョウゲ科に属する雁皮は楮、三椏と並んで和紙の三大原料の一つで古くは斐紙(ひし)、南北朝時代頃よりその未晒しの紙肌が鶏卵の色に似ているので「鳥の子」紙、又は、襖に貼られるものを「間似合紙(まにあいがみ)」と呼ばれてきました。雁皮の繊維は5ミリ前後と短く紙の表面は滑らかできめ細かく半透明で光沢があり美しい艶やかなものとなります。肌の細かさ故に和歌などのかな書きに適し平安時代の『西本願寺本三十六人歌集』の重ね継ぎに代表される料紙など高級紙として評価されてきました。また雁皮の樹皮が強い香りを持つことから虫害の少ない紙とされその堅牢性故に永久保存用の記録用紙としても重宝され、中世に渡来した宣教師が、雁皮紙が羊皮紙に似ているため聖書の用紙に愛用したことが知られています。紙肌の美しさ故に「紙王(しおう)」と呼ばれてきた雁皮紙。「紙王」の由来は『和漢三才図絵』にあり、越前府中の鳥の子は、「紙肌滑らかにして書きやすく、性堅くして久しきに耐え、紙王といふべきか」と。越前に続く紙郷にここ名塩と近江があります。現在の和紙と呼ばれているものの9割は楮紙です。これは楮の栽培が容易なことに対して雁皮は長い間栽培が困難とされ野生のものを探取せねばならなかったことや温暖な気候のもとでしか生育しないことや精製作業や乾燥作業等、取扱いに極めて慎重さを要求されることも要因とされています。柳宗悦、曰く

・武士のように強壯な楮・官女のように典雅な三椏・王妃のように気高い雁皮

間似合紙(まにあいし) 鳥の子紙とともに雁皮紙の一種であるが、鳥の子が書写用紙を中心に用いられているのに対し、間似合紙は襖紙として建築材料の一つとして用いられるのが対照的です。名前の由来は、襖の半間の幅に継ぎ目なしに貼るのに「間に合う」の意味といわれ、鎌倉時代から現れてきます。中世の襖紙には絵画が描かれ、書院造りの障壁面にみるように大発展を遂げたことから間似合紙は水墨画や華麗な大和絵の画材用紙でもありました。例えば長谷川等伯らの襖絵にみる間似合紙は後世のものよりも薄くて白く、原料の雁皮の光沢のある紙肌が生かされ、おそらく墨色を際立たせるとともに、かすかな外光を部屋全体に反射させる効果もあつたのでしょうか。(参考文献)和紙事典(朝日新聞社)、淡交別冊 和紙、和紙入門 久米康生(もも草)、図版で見る摂津・名塩の和紙 亥野 暉

### 名塩和紙

- ・名塩雁皮紙間似合紙(寸法97cm×45cm、主に襖、壁紙、書画用紙)
- ・名塩普通間似合紙(漉き返し紙・主に襖の裏張り用紙として)
- ・金箔打原紙
- ・銀箔打原紙
- ・名塩雁皮紙各種 (Aサイズから各種、主に書画用紙)
- ・名塩和紙各種

- ・色紙、短冊各種(長谷川等伯、梅原龍三郎が愛用した名塩雁皮紙で仕立てました)
- ・封筒、便箋、はがき、名刺、祝い袋、ポチ袋その他小物類